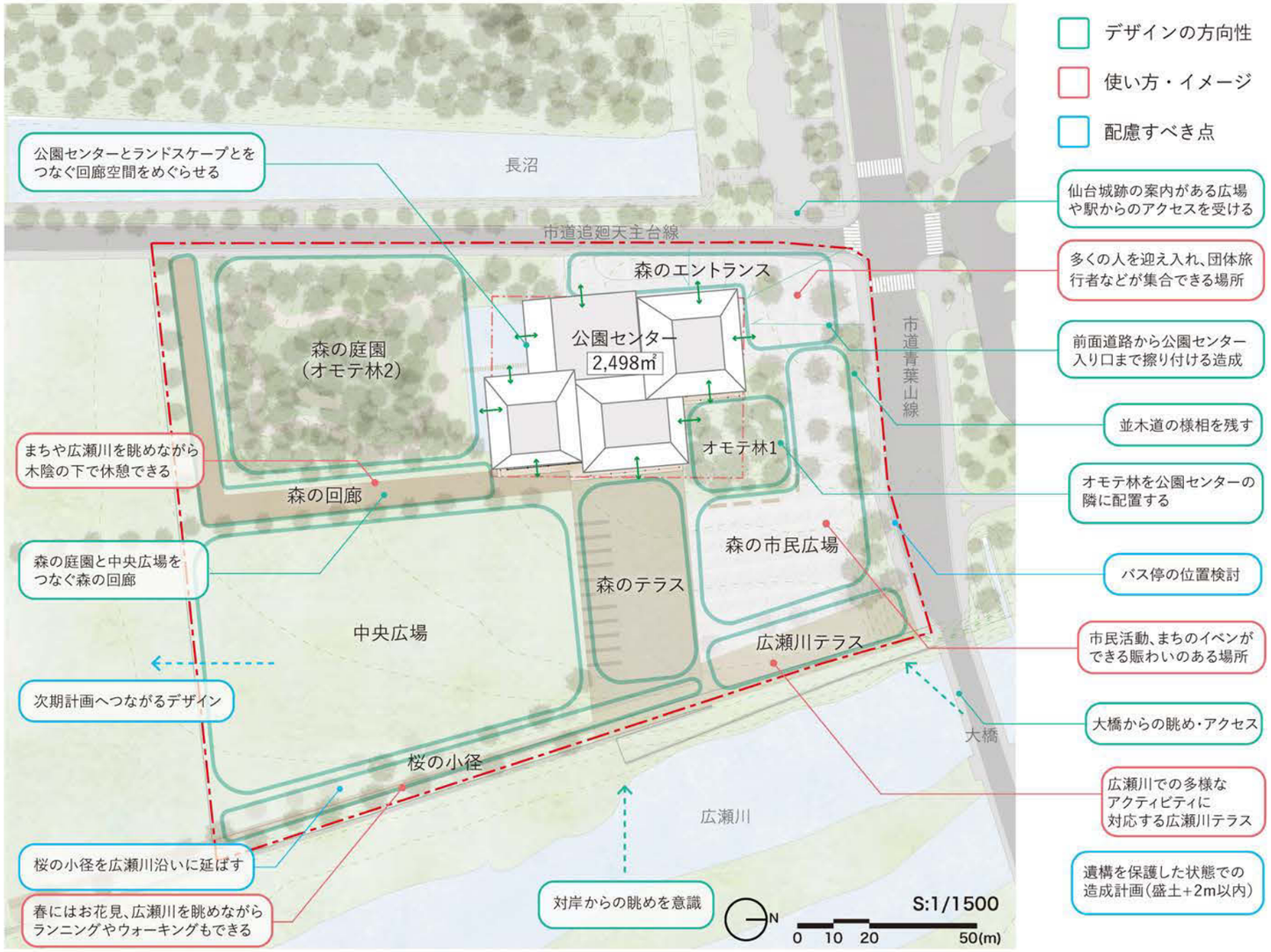
主催 仙台市 SENDAI CITY　運営 AOBA JV

※本資料は無断でコピーして配布したり、ホームページやブログなどに転載し、公衆送信しないようご協力をお願い致します。

1 全体計画（ランドスケープ計画）

全体計画（ランドスケープ計画）について、計画の前提となる要求事項や課題を「配慮すべき点」として整理しながら、
基本設計における「デザインの方向性」と「使い方・イメージ」の重要なポイントをご説明いたします。　プランは検討中のため変更の可能性があります。



面積表

	広場名	面積（㎡）	主な特徴
1	森のエントランス	約 1,661	観光バス停留可・団体客の待ち合わせなど
2	オモテ林 1	約 935	建築と前面道路の間に緩衝空間を設ける
3	森の市民広場	約 3,085	多目的な市民活動のスペース
4	広瀬川テラス	約 1,332	広瀬川の流れを感じながら過ごせる
5	森のテラス	約 1,977	カフェと一体で広瀬川に向かって開かれたテラス
6	中央広場	約 8,489	広々とした芝生広場
7	森の回廊	約 1,423	森の庭園と中央広場の緩衝帯となる回廊空間
8	森の庭園（オモテ林 2）	約 5,749	御裏林を想起させる庭園
9	公園センター	約 2,498	観光機能・カフェ機能・市民活動機能を集約
	合計	約 27,149	

鳥瞰（大橋から）

森の庭園（オモテ林2）

自然の森（御裏林）を想起させる多様な植物で構成した森をつくる

森の回廊

巽門跡からのアプローチ動線に沿った帯状の空間をつく

中央広場

市民のくつろぎやイベントなどの多様な使われ方ができる芝草の広場をつくる

森のエントランス

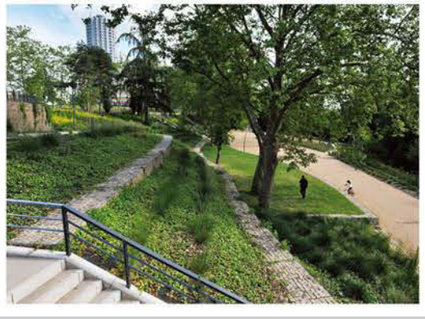
国際センター駅等からの広域利用者を迎え入れるおもてなしの場をつくる

森の市民広場

市民による情報発信等の多様な市民活動の広場をつくる

森のテラス

カフェ空間と一体となった広瀬川に向かって広がるテラスをつくる。緑陰を設けて過ごしやすくする。

広瀬川テラス

広瀬川の流れを感じるテラス、桜並木の連なる散歩道をつくる